

祝 2008リーグ戦優勝

Machida Dream まちだドリーム

7月13日(日)、駒沢公園において、全国社会人サッカー選手権大会の関東予選、FC町田ゼルビア対市原サッカークラブが行われ、ゼルビアは4対1で勝利。全国社会人サッカー大会(於・新潟。10月実施)の関東代表が決定した。

高さ復活、山崎

この日はディフェンダーに山崎が初先発。攻守における山崎のヘディングの強さが非常に印象的。また前半のもたもたの試合展開の中をベテラン酒井が何度も危機を未然に防ぐ好ディフェンス。誰よりも走って小柄ながらも当たり負けしない体を入れてのディフェンスで見方のパスミスのカバーするところはさすが。そして猛暑の中を最後まで走り続けて4点目につなげた勝又。耐久戦の中にも大勢駆けつけたゼルビアサポーターに随所に光るプレーを見せてくれた試合となった。



全国大会出場決定

公式戦無敗ゼルビア

勝又45m独走!

写真提供/安孫子卓郎氏

山口ゼルビア初得点

この日の試合も炎天下の猛暑。人工芝のグラウンドでの13時キックオフはさながら真夏の耐久レース。「早く試合を決めたい」と臨んだ試合は予定どおり完全なゼルビアペース。圧倒的に敵陣で試合を進めるものの、完全に自陣に引く市原SCに対し、バックラインでのパス交換に終始してしまい2トップまでボールが届かない。前半15分はシュートゼロの相手に対し、ゼルビアも攻めながらもシュートは一本。点を入れられない展開に、口の悪い関係者が「先制された方がいい試合になるぞ」なんて言いはじめた25分、敵陣からゼルビア陣内に放り込まれたロングパスにゼルビアの詰めが甘くなったところでフリーからロングシュート。まさかの2本目のシュートが先制点となってしまう。ゼルビアに喝が入る。やっと目が醒めたゼルビア。雑賀石堂、酒井が立て続けにゴールに迫るもの。このままヒヒインドで折り返すと思われた前半残り2分。右サイドで勝又がディフェンダーに勝負をしかけ抜いたところでゴールライン際から低いクロス。これをゴール前で山腰が山口に合わせ山口が左足で待望のゼルビア初ゴール。なんと同点に戻し前半を終える。

酒井、得意のフラインクから3点

ハーフタイムで戸塚監督から機を飛ばされたゼルビア。後半開始早々から見違える動き。後半2分に左コーナーキックを山口が蹴るとファーポストで待っていた山崎がゴール前に落とし、森川が右足で押し込む勝ち越し弾。さらに1分後にはセンターサークル付近の山口から中央の勝又に早いパス。勝又がポストプレーから右サイドの酒井に出し、酒井がさらに得意のボールをまたぐフラインク(シザース)を繰り返しながら角度のないところから強引に右足を振り抜き勝負を決める3点目。この後も故障明けの蒲原、スーパーサブの柏木を投入しゼルビアペースで試合を進めながらも点が入らないでいた残り2分。ハーフラインでディフェンダーを背にしてボールを受けた勝又がそのままディフェンダーを置き去りにして左サイドを45m駆け上がりキーパーが出てきたところを右足インステップでキーパーの脇をくぐり抜ける4点目。前半はもはやしたものの、終わってみれば4対1の快勝。関東代表として全国大会への出場権を獲得した。



関

東リーグの優勝が決まり、11月の「地域リーグ決勝大会」への出場が決定いたしました。

JFLに上がるためには、11月22日から福岡、高知、鳥取のいずれかに割り振られる『一次ラウンド』(3連戦)を1位で通過し、その4日後から行われる石垣島での決勝ラウンド(3連戦)で2位までに入らないとJFLへの昇格が保証されません(JFLからJ2への昇格チーム数によっては3位等でも自動昇格の可能性ありますが、今の段階では未定)。

私たちは当然、石垣島まで行くことを想定しています。過日、旅行代理店に見積もりを依頼したところ、福岡、高知、鳥取の場合それぞれ額が違ってきますが、いずれも一千万円前後。ホテルのレベルを下げて、必要人員も多少少なくして経費削減をはかったりしますが、それでも旅行代理店以外への支出で一千万円を超えることは必至。フロントも営業努力でがんばりますが、ゼルビアが今まで直面したことのない規模の大遠征であり、同時にゼルビア史上最大の決戦となります。

今シーズン、私たちは最初から石垣島に行くことの決意表明の意味も込めてシーズン当初から「石垣島募金(正式名称「石垣島遠征等ゼルビア遠征支援寄付募金」)を募っておりましたが、いよいよ優勝が決まり、一千万円を超える地域リーグ決勝大会への遠征費用をつくらなければならない状況に直面しています(7月14日現在、寄付総額一四万九千

八四円)。
今後、あらゆる機会をつかって遠征費用づくりを図って参ります。引き続き石垣島募金へのご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

さあ 遠征費用へのご寄付を募っています
石垣島決戦へ



東京ヴェルディと練習試合

Jリーグチームとの試合も増えてきます

7月2日(水)9時30分キックオフ(読売ランド内東京ヴェルディ練習場)で東京ヴェルディとFC町田ゼルビアとの練習試合が行われました。

東京ヴェルディとは以前にも練習試合をしたことがありますし、昨年川崎フロンターレと行っておりますが(ゼルビア勝利)、今シーズンではJチームとの練習試合は初めてで、ゼルビアサッカーがどこまで通用するか楽しみでした。

結果は3-0で負けてしまいましたが、見ていた関係者からはゼルビアのサッカーが大変高い評価をいただきました。

ゼルビアは前半と後半15分までレギュラーチーム。ヴェルディはトップチームの控えが中心ということで、大変モチベーション高く試合に臨んでいただいたようです。前半は2-0とはなったものの、ボール保持率は70%程度というくらいゼルビアが優位に進めていました。

ちょっととしたミスとPKで2点取られてしまいましたが、試合を見ていたラモスさんも「いいチームだね」と感心して見ていたとのこと。

選手もいつもの対戦相手とはレベルが違い、一つ一つプレーの速さと攻めても最後の一线を崩し切らないところ等に大変疲れてはおりましたが、「やれるね」「いけるね」との実感を持つことができたとのこと。

ただ戸塚監督は「内容は良かったが3対0で負けは負け。特に点が取れなかったことの課題は大きい。次は内容と結果を結び付けたい」と反省の弁。私たちの目標は「J」練習試合の善戦で満足しているわけにはいかないですね。

これから11月の地域リーグ決勝大会に向けてJチームとの練習試合を含めた強化策の仕掛けに入ります。Jとの試合も増えてきますので、ご注目ください(7月26日ザスパ草津と試合決定)。



ゼルビアのタペストリーが増えています

7月11日(金)、町田の中心市街地の「原町田4丁目商店会」と「幸町商店会」とにゼルビアタペストリーが設置され、これで小田急線の第一踏み切り・第二踏み切りからエルシー前までのメインストリートすべてにゼルビアのタペストリーの掲出ができました。

この日の設置作業には、業者の皆さん(協会の無償提供)に加え、応援団の「クルバ」の皆さんも設置作業に参加。「業者さんだけじゃ大変だから僕たちも行かせて欲しい」とクルバの皆さんからご提案いただいた設置作業。これには選手も「それなら」とばかりに参加。選手、サポーター、協力企業とが一緒になって、そして商店街のご協力をいただき設置することができました。

また山崎団地名店会でもすべてのお店の前で掲出していただき、こちらもゼルビアだらけ。まだまだ続編がござります。タペストリーも足りなくなると追加発注もいたしました。町田中にゼルビアの決意「ゼルビアイレブン宣言」を示して参ります。



サポーターと一緒に設置作業をする森川選手。「選手は乗るな」と言われたのに「それじゃ来た意味がないっす」と自ら脚立の上に乗って作業に

夢おこし まちおこし 町田チャレンジ

イレブンゼルビア2011年宣言

2011年、私たちはJリーグ昇格を実現します。まちに元気、子どもに夢と希望を運びます。

